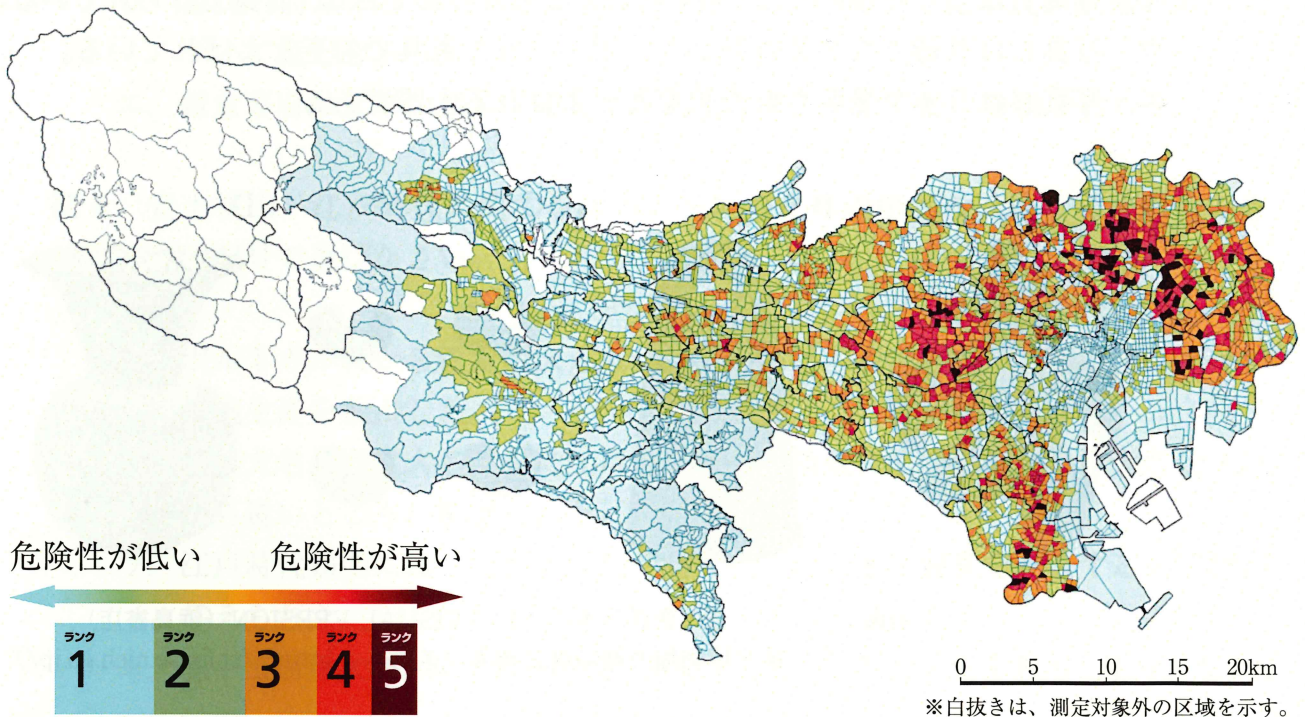


問5 多くの県や市区町村では、自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したハザードマップを作成し、自助や共助に役立てられるよう備えています。次の図は、東京都都市整備局の「地震に関する地域危険度測定調査（第8回）」です。この図から読み取れることについて説明した、ア～エの文章の中から誤っているものを一つ、記号で選びなさい。



〈「東京都都市整備局」ホームページより引用〉

- ア. 東京都と神奈川県との境は危険度4以上がなく、危険度が低いことが読み取れる。
- イ. 東京都の西部と東部を比べると、東部の方が危険度が高いことが読み取れる。
- ウ. 東京23区を中心部は、比較的危険度が低いことが読み取れる。
- エ. ウォーターフロントとよばれる地域は、危険度が低いことが読み取れる。